

3日 木曜

ルカ



9:37 次の日、一行が山から降りて来ると、大ぜいの人の群衆がイエスを迎えた。

9:38 すると、群衆の中から、ひとりの人が叫んで言った。「先生。お願いします。息子を見てやってください。ひとり息子です。」

9:39 ご覧ください。霊がこの子に取りつきますと、突然叫び出すのです。そしてひきつけさせてあわを吹かせ、かき裂いて、なかなか離れようとしません。

9:40 お弟子たちに、この霊を追い出してください。さるようお願いしたのですが、お弟子たちにはできませんでした。」

9:41 イエスは答えて言われた。「ああ、不信仰な、曲がった今の世だ。いつまで、あなたがたといっしょにいて、あなたがたにがまんしていなければならないのでしょうか。あなたの子をここに連れて来なさい。」

9:42 その子が近づいて来る間にも、悪霊は彼を打ち倒して、激しくひきつけさせてしまった。それで、イエスは汚れた霊をしかって、その子をいやし、父親に渡された。

9:43 人々はみな、神のご威光に驚嘆した。イエスのなさったすべてのことに、人々がみな驚いていると、イエスは弟子たちにこう言われた。

9:44 「このことばを、しっかりと耳に入れておきなさい。人の子は、いまに人々の手に渡されます。」

9:45 しかし、弟子たちは、このみことばが理解できなかった。このみことばの意味は、わからないように、彼らから隠されていたのである。また彼らは、このみことばについてイエスに尋ねるのを恐れた。

9:46 さて、弟子たちの間に、自分たちの中で、だれが一番偉いかという議論が持ち上がった。

9:47 しかしイエスは、彼らの心の中の考えを知っておられて、ひとりの子どもの手を取り、自分のそばに立たせ、

9:48 彼らに言われた。「だれでも、このような子どもを、わたしの名のゆえに受け入れる者は、わたしを受け入れる者です。また、わたしを受け入れる者は、わたしを遣わされた方を受け入れる者です。あなたがたすべての中で一番小さい者が一番偉いのです。」

9:49 ヨハネが答えて言った。「先生。私たちは、先生の名を唱えて悪霊を追い出している者を見ましたが、やめさせました。私たちの仲間ではないので、やめさせたのです。」

9:50 しかしイエスは、彼に言われた。「やめさせることはありません。あなたがたに反対しない者は、あなたがたの味方です。」

イエス様は栄光を表した山から下りられました。イエス様は御自身の栄光よりも人類の救いを選ばれて、救いを成し遂げられたのです。今も働かれるイエス様に期待しましょう。

偉くなって人の上に立ちたい…という思いは争いと敗者を作ります。クリスチャンはそのような価値観から自由になった者で、もしも指導者になったとしても、極めて謙遜であることができるのです。イエス様はそのことを弟子たちに教えました。常に謙遜でありましょう。

同じように「自分たちの仲間」かどうか、小さなことです。他のグループとの覇権争いはみこころに反するものです。特にイエス様の名を唱えてその働きをする者同士は、互いに尊重して協力

し合うべきです。同じ教会のクリスチャン同士もそうです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

